

放課後等デイサービス事業所に対する自己評価一覧

令和7年 1月 吉日

公表予定:令和7年 3月 吉日

事業所名 あおい放課後スクール 御前崎ひるがお校

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	参考:工夫している点・課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			訓練指導室は約200㎡あり、県下屈指の広さを確保しております。国の設備基準である児童一人当たり3㎡以上、集団活動が行えるよう、死角のない指導員の目が届く一つの空間で児童発達支援事業であれば30㎡以上の広さという基準以上の広さを用意しております。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			児童10人に対し指導員3人という国の人員配置基準以上の人員配置を常に行い、保育士、教員免許保有者、特別支援教諭免許保有者、看護師、児童指導員など児童分野での経験と専門性の備えたスタッフを配置しています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			児童がわかりやすい遊具の配置、掲示物を減らす、活動時には遊具を片づけるなど工夫しています。階段に手すりを設置しており、各階はバリアフリー思想に基づく造りとなっております。必要に応じて階段昇降の補助をスタッフが行います。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			PDCAサイクルを心がけ、日次は始業時にミーティングを行い、また随時、情報共有を行っております。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			アンケート結果に基づき改善計画を立て実施していきます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			アンケート結果を、令和7年3月内に公表する予定です。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			○	現在、第三者による外部評価は行っておりません。尚、利用者と社内の評価については、毎年度末にWEB上へ公開しております。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			所属職員に対して放課後等デイサービスに関わる各種の研修機会(県主導、業務用専門WEB等)を確保しています。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			見学や体験時、又は送迎の際にニーズを把握したり、行動観察を記録し、支援計画を定められた期間内毎に作成しています。必要に応じて、特別支援教諭がwisc検査を実施及び、結果をお持ちいただき発達状況を把握しています。また、ご要望により、各種関係機関等と情報共有も行っております。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			ミーティング等ではスタッフ一人ひとりが自由に意見を言い、支援の仕方や活動の進め方等共通の目標を持って取り組むことを目指しています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			音楽を通した活動ではあるが、子ども一人ひとりとグループの特性に合わせたプログラム内容を計画し、季節や達成度に合わせて変化させています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			支援時間に応じて、設定し対応。特に、一日支援の時は、郊外での運動や工作などのプログラムを取り入れている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			個別の課題、集団の中での育ちを踏まえて支援計画を作成します。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			
	16	支援終了後には、翌日の朝礼にて、職員間で情報共有し、前日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			活動の前に職員ミーティングを行います。始まる前には利用者の様子やプログラムの流れ、支援方法を確認し合い、終わった後は支援の振り返りを行い、記録します。それらを次のステップアップや改善につなげていきます。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			少なくとも、6ヵ月に1度以上、支援計画の見直しを行っています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○			現在、音楽療法活動を通して成功体験を積んだり自己肯定感を高めたり、ビジョントレーニングに依る眼球運動のコントロール能力、焦点合わせ等の機能向上を実施しております。また、お友達と関わったり、表現する喜びを体験したり、活動の中で自己選択する場面を設けたりして専門療育に特化して支援しています。
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			開催される場合には児童発達支援管理責任者又は、特別支援学校教諭免許保持者等の適任者が出席しております。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			基本的には保護者を通して情報を得ていますが、学校と直接、情報共有することがあります。学校主催の児童に関する連携会議が開催される場合は、学校からの依頼によっては、参加させていただいております。

関係機関や保護者との連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○			看護師常勤1名、非常勤1名体制にて対応しております。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○			利用者は必要に応じた情報共有がなされています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			○	開所から現在まで実績は御座いません。障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供致します。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			療育の実施時間が限られており、地域交流が難しい状況となっております。利用者の状態に応じて必要性があれば、都度対応して参ります。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか			○	要請があれば参加しています。関連するものとして、御前崎市・菊川市・掛川市主催の障害福祉サービス事業者連絡会に参加しています。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか			○	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			毎回終了後に保護者の方へ直接フィードバックの時間を設けています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			前年度末に、ペアレントトレーニングを実施しています。今年度は年度末の開催を検討中です。職員による講習の受講は実施済みであり、個別支援計画等のフィードバック時に対応方法などのアドバイスの機会を設けています。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に説明を行っております。また、施設内にも各種資料を掲示済み、随時不明な点は職員が説明するようにしています。支援の内容については支援計画の説明でお知らせしたり、支援終了後にフィードバックの時間を設けています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			利用者が活動に参加している時間や支援終了後のフィードバック時に応じることができます。また、必要に応じて別日で相談日を設けます。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			前年度末に、ペアレント・トレーニングを開催、父母間通しの交流を深めました。現在の各種感染症の状況を鑑みながらではありますが、本年度末に保護者も参加できる児童による音楽発表会を、計画しています。今後も保護者の皆様の交流の場として活動の参観も自由とした機会を計画していきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情があった場合、苦情受付・解決担当につなげ迅速かつ適切に対応するよう努めています。また社内での共有にはかります。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			保護者の皆様に、個別でラインにて、配信させて頂いております。また、ホームページを通じ、活動内容を発信しております。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			個人情報に記載された書類は鍵付きの倉庫に保管しています。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			わかりやすい伝達方法を工夫したり、伝わる方法を利用者や保護者に合わせるようにしています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			各種感染症の状況を鑑みて、小規模ながら隣家の方との療育活動により、交流を図っております。今後も地域の中の事業所として可能な形で開かれた事業運営に努めます。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			危機管理マニュアル、アレルギー対応マニュアル等を策定について保護者にてお知らせします。コロナウィルス感染症対応マニュアルも自治体のガイドラインに沿った形で作成し周知徹底を図っています。今後は保護者にむけてマニュアル等の情報の周知を図ります。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			職員、児童を含めた避難訓練を定期的の実施しております。※2回/月
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			虐待防止に関わる外部講習はリモートで参加し受講しています。新規入社の職員に対しても順次受講させていきます。虐待防止マニュアルを作成するとともに、全職員を対象とした該当する講習の受講を定期的の実施しています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			現在対象児童はおりません。身体拘束に関しては、利用者本人の生命や身体を保護するため緊急を要する場合に、切迫性・非代替性・一時性であることを条件に行うことを職員の共通認識としています。そして、行った場合は記録に残すことにしています。また、保護者にはそれらを契約書に記載し説明しています。対象児童がいる場合には組織的に決定し、支援計画に記載する体制があります。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			アレルギーがあれば活動には取り入れないようにしています。必要に応じて服薬・投薬・緊急搬送先などの取り決めを保護者と行い、医師にも確認してもらっています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			危険な事例があった場合、日報等報告書に記載し、ミーティングを通して職員で共有しています。